

市議団基本政策 により命と暮らしを守る市政実現のためにがんばります。

- ▶ 国保料の値上げ反対、1人1万円引き下げを
- ▶ 保育園・児童保育所の待機児をゼロに、学校給食の無償化、ラフドセル・制服代への補助を
- ▶ 市民参加と情報公開で市政をガツアズ張りに
- ▶ 特養ホームの増設など安心できる介護体制を

- ▶ 介護・保育・福祉の現場で働く方々の待遇改善
- ▶ 交通不便解消、くりんぱスの拡充を、利用料は100円に
- ▶ 横田基地の整理・縮小・返還をすすめ、オアシアの配備撤回を
- ▶ 地域の拠点整備—活動や相談の場の設置、子ども食堂、認知症カフェの充実を

日本共産党市議団は、「市政アンケート」を取り組むなど、皆さんの声を市政に反映させるために奮闘してきました。そして、国保料の引き下げ(2016年度)や公有地を活用した特養ホームの建設を実現できました。市民のみならずと力を合わせて市政を動かしてきました。

日本共産党の5人で 市民の暮らし最優先の 立川市政の実現へ



若木さなえ  
@wakakisanae

2期目に挑戦

この4年間、介護の声、
砂川地域の願いを
届け続けてきました

日本共産党 立川市議 1期

わかき
若木 さなえ

Profile 1975年 国立市生まれ。都立第5商業高等学校卒。介護福祉士。サービス業や介護の仕事を経て2014年立川市議会議員選挙当選。文教委員、野火止用水保全対策協議会委員歴任。現在、厚生産業委員、国民健康保険運営協議会委員。立川平和委員会 理事。アウトドアと踊ることが大好き。上砂町在住。



市民の立場
で声あげる

介護の現場から市政に送り出していただいて以来、「尊い命と平和を守ること」を常に考え、活動をしてきました。社会保障や医療介護の改悪で暮らしや命が脅かされる実態や、長時間労働や過酷な労働で現役世代や若者の命・健康が脅かされる実態と声を届け続けてきました。市が命とくらしを最優先に考えて取り組みを進めるよう力をつくします。

議会のたびに介護の声

砂川地域を
元気に!

届け続けた4年間

特養ホーム増設 介護保険料の値上げとめる

地域から多くの相談が寄せられ、他党の議員から「また始まった」と言われても、繰り返し介護の実態を届け続けてきました。こうした中、特別養護老人ホームが整備され、4月からの介護保険料の値上げを据え置くことができました。しかし、独居高齢者の孤立対策や年金で入れる特養ホーム、高すぎる介護保険料、介護人材の確保など、まだまだ多くの課題が残っています。



砂川地域の要望を届けつづける

「雨水対策」「狭い道路や歩道の改善」「緑道や公園の整備」など砂川地域の要望を届け続けてきました。雨水対策では雨水浸透施設の設置、清掃などが進みました。ひとつひとつの声を届け、カーブミラーや自転車ナビマークの設置など、道路の安全対策が進んできました。集中豪雨などへの抜本的対策や交通不便地域、公共施設の少なさなど砂川格差の解決へ！さらに頑張ります。



ひとり親 若者 生活困窮者 障害のある方 声をあげにくい人の声を聞き続け、 届けつづけてきました。

国の基準引き下げによって対象外になってしまう所得の低い世帯の子どもの就学援助(毎年150人～160人)を市で継続することができています。長時間労働やブラックな働き方について繰り返し取り上げ「これだけは知っておきたい労働法のポイント」チラシの作成が進みました。労働法の周知や相談窓口の充実など引き続き力を尽くします。精神障害のある方の相談を多く受け、相談・支援体制の拡充などを求めてきました。引き続き頑張ります！



オスプレイの配備
許しません!

日本共産党

わかき

若木 さなえ

くるりんバスの拡充、民間バスの拡充、
オンデマンドタクシーの導入

交通不便地域の解決に全力!

くるりんバスが再編され「市役所やアイムに行けなくなった」などの声が寄せられ、利用率が下がっています。運賃の値下げや、住民の要望に応えた路線の整備に力を尽くします。併せてオンデマンドタクシーの導入、民間バス路線の充実などで高齢者になっても安心して過ごせるように頑張ります！

